



「資料室・教科書センター」の紹介②

◆ 資料室・教科書センターとは・・・

教職員の自主的な調査・研究を支援することを目的としています。

教育関係に携わる方をはじめ、教育に関心がある方に広くご利用いただけます。



新刊紹介 part 2

【場 所】 高知市教育研究所（アスパル
こうち3階）教職員研修班前

【開室日】 月～金曜日（土日祝は閉室）

【開室時間】 9：00～17：00

【貸出期間】 2週間



分野	書 名	著者名【出版社】
学級経営等	中学生の自律を育てる学級づくり	田中 輝美・鹿嶋 真弓 【金子書房】
	通常学級ユニバーサルデザイン 学級づくりのポイントと問題行動への対応 I	佐藤 慎二 【東洋館出版】
	図とイラストですぐわかる教師が使えるカウンセリングテクニック80	諸富 祥彦 【図書文化】
ICT関係	タブレット端末で表現する協働的な学び -xSync- シンクロする思考	中川 一史・佐藤 幸江 【フォーラムA】
	タブレットは紙に勝てるのか タブレット時代の教育	赤堀 侃司 【ジャムハウス】
教科等	起きてから寝るまで英語表現700 完全改訂版	吉田 研作 【アルク】
	“国境・国土・領土”教育の論点争点 過去に学び、世界に学び、未来を拓く社会科授業の新提案	草原 和博・渡部 竜也 【明治図書】
	複式発 国語授業の教科書 これだけは知っておきたい国語授業づくりQ&A40	全国複式国語授業研究会 【東洋館出版社】
	速読速聴・英単語 TOEIC TEST GLOBAL900	松本 茂 【Z会】
	「単元を貫く言語活動」を位置付けた小学校国語科学習指導案 パーフェクトガイド1・2年	水戸部 修治 【明治図書】
	「単元を貫く言語活動」を位置付けた小学校国語科学習指導案 パーフェクトガイド3・4年	水戸部 修治 【明治図書】
	「単元を貫く言語活動」を位置付けた小学校国語科学習指導案 パーフェクトガイド5・6年	水戸部 修治 【明治図書】
	チャレンジ！単元を貫く言語活動の授業づくり—小学校国語科	水戸部 修治 【文溪堂】
	子どもが語り合い、聴き合う国語の授業	佐藤 康子・大内 善一 【明治図書】
他	絶対に達成する技術	永谷 研一 【KADOKAWA】

初任者研修 課題等研修Ⅴ（小学校）

平成26年11月14日（金）実施
全体講師：高知大学教育学部附属小学校 高橋 真 教諭

目的 複式学級における指導の在り方についての研修を行い、教員としての指導力の向上を図る。

研修Ⅰ 【公開授業】 算数科 「小数」（第3学年）, 「計算のきまり」（第4学年）

【学習の展開】

間接指導

直接指導

3年

1 問題を知る

- ノートに数直線をかかせ、1の位置を知らせる。



1.8 はどんな数？

- 数直線上に1.8を書き込ませた後、1.8の大きさを表す表現を引き出す。

2 1.8の大きさを言葉で表現する

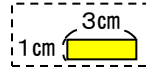
- 数直線を手がかりとさせながら、1.8の大きさを言葉で表現させる。書いたものから二つを選ばせ、提示させる。

3 表現を仲間分けする

- ある子どもに、仲間だと考えた二つの表現を取り出させる。それを手がかりとして「よむ」活動を取り入れ、仲間分けの視点を共有させていく。

4年

1 問題を知り、解決する

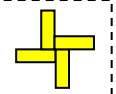


まわりの長さを一つの式で表そう！

- 周りの長さの意味や必要な長さについて話し合わせ、題意をとらえさせる。
- 式の意味と周りの長さの求め方を関連させながら、考え方のポイントをまとめさせる。

2 問題2を知る

- 問題1で用いた長方形を4枚使い、右図のような形をつくる。
- 周りを線で囲ませて解決に取り組ませていく。



3 解決に取り組む

- 動き出せない子どもには、必要な長さを書き込ませたり、友だちに手がかりをもらったりするように促す。



4 解決する

研修Ⅱ【講話】「複式学級の指導の在り方について 複式学級における授業づくり ～算数科を中心に～」

複式学級の特徴：少人数、異学年

【長所】

- 個に対応した、きめ細かな指導がしやすい
- 一斉指導にこだわらない指導方法が可能
- 自分で学習を進めているという意識 等

【短所】

- 意見の多様性に欠ける
- 一方の学年にかかわれる時間が短い
- 教師の準備の負担が増える 等

「調べてみたい!」「やってみたい!」 子どもが自分たちで学ぼうとする授業



この姿を引き出すために、教材研究・授業改善を行う

単式学級でも同じ!

【直接指導】

→ 子どもにとって、教師が必要な場面 **= 教師の役割**

【間接指導】

→ 自分たちで解決することを楽しむ場面

- 学習している意識をもたせる
- 満足感や達成感を味わわせる

【同時直接指導】

- 動いていない子どもに目を向ける
- 話合いの視点を投げかける
- 両学年の様子をとらえる

授業中の教師の役割

子どもが課題をつかむ場面

子どもが動き出せるように

- 問いをもたせる
- 見通しをもたせる
- 手がかりを見出させる



子どもの考えが明確になっていく場面

かかわりをおして考えが深まるように

- 深める視点を与える
- 考えを揺さぶる

